

# 2022 年度秋学期「教員アンケート」の結果について

流通経済大学 FD・SD 委員会

## 目次

1. 回答者とその内訳	1
2. 学生アンケートが自身の取り組みの振り返りに役立っているか	1
3. 学生の集中や理解を促す取り組みについて	2
4. 前回アンケートで提示した改善策の実施状況	3
5. 今後の改善計画	4
6. 対面授業の教育効果や本学の魅力を高める活用方法の提案	4
7. 特別な配慮が必要な学生への対応	5
参考資料（集計数値）	7

## 1. 回答者とその内訳

・2022年度秋学期の教員アンケートには、88名(2022年度春128名；2021年度春144名、秋115名)が回答した。内訳は、専任教員が61名(2022年度春80名；2021年度春79名、秋68名)、非常勤講師が27名(2022年度春48名；2021年度春65名、秋47名)であった。すべての学部を通じた回答者の総数は、昨年度の春学期と比べ減少したが、専任教員の回答率は2021年度秋、2022年度春と比べると若干上昇した。ただし、教員の総数は学期によって異なること、2021年度秋学期と比べても回答者数が減少したこと等には注意しなければならない。

## 2. 学生アンケートが自身の取り組みの振り返りに役立っているか

・「学生アンケートが自身の取り組みの振り返りに役立っているか」という質問には、回答者総数の73.8%、65名(2022年度春81.3%、104名；2021年度春78.5%、113名、秋81.7%、94名)が、「とても役立っている」あるいは「概ね役立っている」と回答した。

### ・役立っていると回答した理由として、特徴的な記述回答

「学生の意見を素直に受け入れて、今後の授業の参考としたいから。」

「学生の記述意見を読むことができ、来年度の授業に役立つから。」

「Student surveys can be difficult to interpret, but they are good to have. They help me focus on where I can improve in teaching.」

「匿名であること=本音と受け止めている。」

「直接教員に言えないことが書いてある場合があり、参考になる。ただ、manabaでの実施になってから、回答数が少なくなったと感じており(実際に受講生の2割程度の回答率)、授業アンケートの実施方法の改善が必要かと思う。」

など

### ・学生への授業アンケートの実施方法について

「回答数が少ない・回答率が低い」との言及が12件(2022年度春18件；2021年度秋20件、役立っているとの肯定的なコメント内での言及も含む)

「アンケートがどのように役立っているか、学生が実感できないらしく、アンケートに回答することに積極的ではない」

「n数が少なく、偏った意見となりかねないため。「教員が私語を注意する」の質問項目はあまり適切ではないのではないかとと思われる。授業場面に応じて学生同士コミュニケーションを取ったり発言したりすることもあるかもしれないが、本来講義とは静粛に聞くべきものであり、学生の私語ありきで教員に対する評価が発生するのは違和感がある。しかし、例えばそういった教員の授業態度から学生が教育方法を学ぶといった目標が大学にあるのならば設問の存在意義が理解ができる。」

「質問内容が漠然としているため、具体的な問題点などが浮かび上がらない。」

「学生の回答数が少ないため。もっとも回答した学生はおおむね真面目に授業を受けている学生であると考えられるため、自由記述欄の記述などは参考になる。」

「授業内でも、manabaでもアナウンスしているところですが、年々、学生の回答率が下がっており、1割くらいの学生しか回答していないので、参考にしたいものの、参考にするだけの回答数が得られないという状況です。何か回答率を上げる方法をご検討いただけますと幸いです。」

など

### 3. 学生の集中や理解を促す取り組みについて

・学生の集中や理解を促す取り組みについては、対面形式で運営する授業も増えたが、前年度秋学期と同様に、manabaを利用した資料の提示、また動画資料の提供など、これまでのオンライン授業で蓄積した工夫を挙げる教員が多かった。

#### 動画、映像資料の活用の取組についての言及 8 件(22 年度春 22 件；21 年度秋 34 件)

「昨年度から講義資料を事前に PDF で配信することに加え、Youtube に講義動画を UP してその URL を提示したことによって、資料と動画の両方で学習できるようにしたことは、概ね好評であり、また理解が深まったという意見があった。」

「毎回、授業を録画し、復習用の動画として manaba で公開した。また、提供資料に、図、写真を多用した。学生からの評価は、平均またはそれ以上であった。ただし、回答率が低く、全体を反映しているかは不明である。」

など

#### manaba の小テスト活用に触れた振り返りの取組 11 件(22 年度春 19 件；21 年度秋 15 件)

「授業後課題をドリル形式で課すなどして学生の理解力を高める取り組みをしました。その科目についてはそれなりに評価がされていました。一方でこうした取り組みがあまりできなかった科目については難しいという反応が比較的多くありました。」

「対面授業になった後でも、オンラインを活用しました。具体的には manaba「掲示板」「小テスト」「レポート」です。今日的なツールとして大変有効だと思います。」

「オンライン授業に関しては manaba の小テストを毎回授業で課し、成績評価における小テストのウェイトを高くした。その結果、小テストへの回答度が高くなった。」

「毎回、前回授業での学生の感想や質問をとりあげて、前回授業の振り返りを行うとともに質問が上がった点について補足授業を行った。チャットなどでの呼びかけ、質問の受付も行い、授業の中で反映させてきた。学生からの反応は良く、授業最後にならず拍手マークを送ってくれたりして、気分的に大変ささえしてもらった。感想も良く、頑張っよかったと思えた。」

「オンライン授業は、判らないところは何度でも繰り返し受講するように指導した。また、疑問点などはメールなどで問い合わせがあり、返答を繰り返すことで、学生の理解力が深まった。」

「対面で回収したレポートの成績を manaba にアップしたことで、各自が自分のレポートの提出状況、その累積評価の状況を確認することができるようになった。それにより、挽回レポートを提出するかどうか学生が自分で決めることができた。おそらくその成果だと思われるが、挽回レポートに取り組む姿勢が真剣になり、レベルの高いレポートが多く提出された。」  
など

#### そのほかの取組について

「ペアワーク活動を導入したりして、テンポよく授業を行うようにした。」

「毎回、前回の授業の振り返りの時間を設けて、いまの授業がどの位置かを把握できるようにしている。」

「レジュメに穴埋め箇所をつくる」

「ガイダンス時の授業マナーに対する明確なルール設定(私語厳禁等)、事前のアンケートによる呼名の要望受付(苗字/さん付けなど)・個別の配慮依頼受付(配慮申請を提出するほどではないが、対応について配慮して欲しいことの自己申告受付)などを例年おこなっています。また、授業中だけでなく、毎回 manaba とメールで質問を受け付け、個別に対応したほか、次回授業で該当部分について回答・再説明をし、全体の理解度を深められるよう考慮しました。学びに対する一定の意欲がある学生からは好評でした。」

「授業中に、クイックアンケートを実施し、その場で、回答をスクリーンに映す。あるいは、学生のコメントや回答を、次の回の授業で(パワポにして、匿名で)スクリーンに映す。自分の書いたものが映って嬉しかったというコメントもあった。」

「オンライン授業でも双方向性を持たせるため、WEBEX の投票機能を利用し、授業中にクイズを出題した。」

など

#### 4. 前回アンケートで提示した改善策の実施状況

・おおよそ改善できたとするコメント 26 件(22 年度春 15 件；21 年度秋 79 件)

「Seat assignment worked very well students became more concentrated. The increase of Japanese explanations promoted better understanding.」

「重要な個所は繰り返し説明するなど、授業内で実施することができた。アンケートの自由記述欄で、振り返りの時間があってよかったとの回答があり、一定の成果があったと認識している。」

「前回の改善策:板書の分量をセーブし授業の内容のコンパクト化を図ること、および授業外学習の確保。成果:板書内容のコンパクト化については、大分達成できたと思う。しかし授業外学習の奨励については、まだ十分な成果が上げられない状態である。」

「もっと早めにレポートの返却をしたい、と書いた気がする。2 週間以内の返却を心がけて概ね達成できた。しかし、学内業務や自分の体力の限界を考えると、この約束を守るのはハードである。一進一退、せっかく成果が出たので継続したいが、現実には厳しい。」

など

#### ・改善には至っていない、難しいとのコメント

「提出物の回数を増やし、状況を把握するよう努めたいと思っていたが、実施できたクラスに偏りが生じた。やはりこまめに提出の機会を作るのがよいようなので今後はそのようにしたい。」

「授業内容を見直し学習内容をより重要なものに厳選することが課題であると考えているが、まだ実施できていない。」

「シラバスの記載と実際の授業運営で変更点がいくつか生じてしまった。シラバスの記載内容に忠実に授業を実施すべきだった。事前学習、事後学習の指示については回によってバラツキがあった。また、達成度が低いことも明示された。どの学生も予習、復習できるようにしていきたい。」

など

### 5. 今後の改善計画

次のような記述回答が見られた。

「ペアワーク活動などを通して、学生が積極的に発話する授業にする。」

「increase time for group work activity」

「自由記入欄で、板書の文字が読みにくいとの指摘があったので、もう少し丁寧に書く、もしくはPPT資料に情報を載せるなど、改善したいと思う。」

「とりわけ少人数のクラスにおいては、学生同士で理解を深め合うことができるよう、コミュニケーションや議論の場を増やすことを考えています。人数の多い授業については、学習環境の整備と合わせ、モチベーションの低い学生ができるだけ集中して取り組めるよう、各回の中で、聴く・考える・話すといった要素を取り入れます。」

「授業のコンパクト化をさらに図るためにも、また授業外学習を充実させるためにもmanabaなどのシステムの利用を広げる必要がある。」

「引き続きICTの活用の工夫を模索する、また、より積極的な授業参加や学習姿勢を促し身につけさせたい。コロナが大分落ち着いてきたので、原点に立ち返り、教員として学生に成長してもらいたいといった「気持ち」の部分も改めて大事にしながら、また、新たな外国語学習のトレンドもみながら、より良い授業を模索し工夫していく。」

「オンライン講義を続けてきたため、学生から対面講義が望ましいという声があるため、次年度からの対面講義に期待したい。ただし、これまで通り、講義資料PDFの配信と講義動画のURLの提示は続けていき、受講学生の理解の助けとなるようにしたい。」

「授業アンケート回答への呼び掛けを徹底したいと思います。」

など

### 6. 対面授業の教育効果や本学の魅力を高める活用方法の提案

・対面授業の教育効果や本学の魅力を高めるためのオンライン授業の活用については、以下

のような提案があった。

・オンライン形式時に活用した manaba の小テスト機能の対面形式時の活用 14 件(22 年度春 19 件；21 年度秋 21 件)

「オンライン授業の時に使用した manaba の機能を使って、小テストをしました。予習復習ができて良かったという意見がありました。」

「対面授業での課題提出を manaba で行わせたことで、集計の手間が減り、その他の授業準備に割く時間を増やすことができました(教育効果を直接的に高めたわけではありません)。」

など

・動画提供などオンデマンド形式の活用による欠席者への対応、また学生の自主学习(予復習)のサポート

「manaba による動画コンテンツ掲載は、繰り返しの学修に有効だと思います。また、manaba に動画を直接貼り付けることができるのは 50MB というサイズの制限があり、Google ドライブで補完した。学生がどのようなところを繰り返し視聴しているか、学生がつまづきはどこかを知るためには、動画コンテンツ配信機能の追加が必須で、そうなるといっそうオンライン授業のコンテンツ作成の精度が向上すると予想する。」

「現在の講義資料 PDF の事前配信と講義動画の URL の提示は、一定の成果を上げていると思われるので、対面になった後も継続したいと思っている。」

「休講時の代替措置として manaba での課題提示と zoom を使用したゼミ指導は行いました。ゼミなどの個人指導などは複数回オンラインでも行っていますし、今後も活用していきたいと思っています。また欠席者に過去に作成した授業動画を視聴させるということも行いました。ここ数年に作成した過去の授業動画は今後も一定程度活用できると考えています。」

など

・その他

「入学志願者には、各科目の授業動画を選んで視聴できるような(バーチャル学生体験などのタイトルで)サービスをおこなう、などするといいかもしれません。」

「LINEWORKS を用いたことで、授業外でチャットでも気軽に質疑ができるようになった。」

「授業の成果物(優秀なレポートや発表など)を、学生の許可をとった上で公開するのもよいかもしれない。」

など

## 7. 特別な配慮が必要な学生への対応

「ゼミでも出席が少ない学生がいましたので教育学習支援センターや学生生活課と情報共有して指導するようにしました。」

「漢字の読み方に苦労する留学生の場合は準備する際に、よみがなをふるなどの工夫をでき

と思うが,これも準備にかけられる時間をどれだけ確保できるかによる。」

「障害のある学生には何度でも繰り返し学習できるオンラインでの講義動画の配信は有効であったと考える。」

など

以上

参考資料（集計数値）

1. 回答者とその内訳

●学部別の回答者数

学部別の回答者数	2020年度春	2020年度秋	2021年度春	2021年度秋	2022年度春	2022年度秋
経済学部	41	25	44	28	35	26
社会学部	37	34	43	34	38	24
流通情報学部	24	17	20	19	20	13
法学部	21	15	19	16	17	14
スポーツ健康科学部	22	16	15	18	17	10
無回答	4	0	3	0	1	1
	149	107	144	115	128	88

●専任・非常勤別の回答者数

専任・非常勤別の回答者数	2020年度春	2020年度秋	2021年度春	2021年度秋	2022年度春	2022年度秋
専任	92	71	79	68	80	61
非常勤	56	36	65	47	48	27
無回答	1	0	0	0	0	0
	149	107	144	115	128	88

●専任教員の回答者数（学部別）

専任教員の回答者数（学部別）	2020年度春	2020年度秋	2021年度春	2021年度秋	2022年度春	2022年度秋
経済学部	24	17	23	15	17	15
社会学部	19	18	19	16	21	16
流通情報学部	17	13	16	14	16	12
法学部	13	9	11	9	10	9
スポーツ健康科学部	18	14	10	14	16	8
無回答	2	0	0	0	0	1
	93	71	79	68	80	61

●科目区分別の回答者数

科目区分別の回答者数	2020年度春	2020年度秋	2021年度春	2021年度秋	2022年度春	2022年度秋
専門科目	84	63	82	69	78	49
教養科目	65	44	59	45	47	38
無回答	0	0	3	1	3	1
	149	107	144	115	128	88



## 2. 学生アンケートが自身の取り組みの振り返りに役立っているか

学生アンケートが自身の取り組みの振り返りに役立っているか	2020年度春	2020年度秋	2021年度春	2021年度秋	2022年度春	2022年度秋
とても役立っている	29	15	23	13	14	9
概ね役立っている	94	71	90	81	90	56
どちらとも言えない	23	15	21	17	22	18
あまり役立っていない	3	6	10	3	2	4
全く役立っていない	0	0	0	1	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0
	149	107	144	115	128	88

